

令和 2 年度
茨城県教育研究会 体育・保健体育研究部
郡市部長研修会要項

日時	令和 2 年 5 月 2 9 日（金） 午後 2 時より
場所	教育プラザいばらき

- 1 はじめの言葉
- 2 前年度部長あいさつ
- 3 郡市部長自己紹介（※郡市番号順）
- 4 新役員選出
 - (1) 中央・県北・県南・県東・県西の代表選出
 - (2) 5 地区代表の中から研究部長選出
 - (3) 部長を選出した地区は副代表を再度選出
- 5 新役員あいさつ（代表）
- 6 協 議
 - (1) 令和 2 年度事業計画について
 - (2) 令和 2 年度予算案について
 - (3) 本研究部の研究テーマについて
 - (4) 研究推進委員について
 - (5) 学校体育研究協議会について（発表者ローテーション）
 - (6) その他
- 7 研修講話
講師 茨城県教育庁学校教育部保健体育課学校体育指導主事 塚田 勝之 先生
- 8 おわりの言葉

令和2年度 郡市部長・推進委員・役員名簿

地区		郡 市	部長氏名	勤務先	備考	推進委員氏名	学 校 名	備考
中央地区	1	水戸市	千ヶ崎 高志	水戸市立柳河小学校	校長			
	2	笠間市	矢口 祐治	笠間市立友部第二小学校	校長			
	3	ひたちなか市	榎本 裕基	ひたちなか市立津田小学校	校長			
	4	常陸大宮市	菊池 信幸	常陸大宮市立村田小学校	教頭			
	5	那珂市	関根 敏明	那珂市立菅谷西小学校	教頭			
	6	小美玉市	高木 克己	小美玉市立美野里中学校	教頭			
	7	東茨城郡	小沼 正美	大洗町立大洗小学校	教頭			
	8	那珂郡	平間 克司	東海村立石神小学校	校長			
	9	久慈郡	海老根祐一	太子町立さはら小学校	校長			
県北地区	10	日立市	多田 賢一	日立市立滑川中学校	校長			
	11	常陸太田市	會澤 伯民	常陸太田市立幸久小学校	校長			
	12	高萩市	遠藤 貞	高萩市立高萩小学校	教頭			
	13	北茨城市	高野 雅英	北茨城市立中郷第一小学校	校長			
県東地区	14	鹿嶋市	大川 雅教	鹿嶋市立豊郷小学校	校長			
	15	神栖市	倉橋 孝一	神栖市立軽野東小学校	校長			
	16	鉾田市	木下 健	鉾田市立白鳥東小学校	校長			
	17	潮来市	齋藤 薫	潮来市立津知小学校	教頭			
	18	行方市	柏葉 伸一郎	行方市立麻生東小学校	校長			
県南地区	19	土浦市	高田 利信	土浦市立都和中学校	校長			
	20	石岡市	川上 和正	石岡市立北小学校	校長			
	21	龍ヶ崎市	根本 清史	龍ヶ崎市立城西中学校	校長			
	22	取手市	黒羽 勉	取手市立取手東小学校	校長			
	23	牛久市	齊賀 啓三	牛久市立おくの義務教育学校	教頭			
	24	つくば市	梅田 英世	豊里学園つくば市立沼崎小学校	校長			
	25	守谷市	秋山 利夫	守谷市立大野小学校	校長			
	26	稲敷市	鈴木 浩二	稲敷市立桜川中学校	校長			
	27	かすみがうら市	常井 裕二	かすみがうら市立七会小学校	教頭			
	28	つくばみらい市	川村 勝司	つくばみらい市立谷原小学校	校長			
	29	稲敷郡	渡邊 健司	阿見町立朝日中学校	校長			
	30	北相馬郡	関谷 隆徳	利根町立文間小学校	教頭			
県西地区	31	古河市	竹村 靖	古河市立古河第一小学校	校長			
	32	結城市	大森 達也	結城市立結城東中学校	校長			
	33	下妻市	國府田 薫	下妻市立大宝小学校	校長			
	34	常総市	鶴見 徹也	常総市立石下西中学校	校長			
	35	筑西市	武田 孝彦	筑西市立竹島小学校	校長			
	36	坂東市	神吉 哲寛	坂東市立逆井山小学校	校長			
	37	桜川市	橋本 孝之	桜川市立岩瀬東中学校	校長			
	38	結城郡	竹久 武志	八千代町立安静小学校	校長			
	39	猿島郡	根本 郁夫	境町立森戸小学校	校長			
中央	40	茨大附属	久保田みどり	茨城大学教育学部附属小学校	教諭			

役員	部長	千ヶ崎 高志	水戸市立柳河小学校
	中央	海老根 祐一	太子町立さはら小学校
	県北	高野 雅英	北茨城市立中郷第一小学校
	県東	木下 健	鉾田市立白鳥東小学校
	県南	根本 清史	龍ヶ崎市立城西中学校
	県西	竹村 靖	古河市立古河第一小学校
事務局	庶務幹事	新井 草太	水戸市立大場小学校
	庶務幹事	飯田 一成	茨城町立青葉中学校
	会計幹事	酒井 翔太	水戸市立緑岡中学校
	会報幹事	肥高 カンナ	水戸市立見川中学校

令和２年度 体育・保健体育研究部 役員・事務局

役員

役 職	地 区 名	氏 名	学 校 名
部 長	中 央	千ヶ崎 高志	水戸市立柳河小学校
副部長	中 央	海老根 祐一	大子町立さはら小学校
副部長	県 北	高野 雅英	北茨城市立中郷第一小学校
副部長	県 東	木下 健	鉾田市立白鳥東小学校
副部長	県 南	根本 清史	龍ヶ崎市立城西中学校
副部長	県 西	竹村 靖	古河市立古河第一小学校

代表推進委員

役 職	地 区 名	氏 名	学 校 名
推進委員長	中 央		
副推進委員長	中 央		
副推進委員長	県 北		
副推進委員長	県 東		
副推進委員長	県 南		
副推進委員長	県 西		

事務局

役 職	氏 名	勤 務 先	電話番号
庶務幹事	新井 草太	水戸市立大場小学校	029-269-2103
庶務幹事	飯田 一成	茨城町立青葉中学校	029-292-0222
会計幹事	酒井 翔太	水戸市立緑岡中学校	029-241-1069
会報幹事	肥高カンナ	水戸市立見川中学校	029-241-2309

令和2年度 体育・保健体育研究部事業計画（案）

（○）他の研究部

（ ）重点研究部

研究部名	研究部費 予算額	年次計画			月別事業計画											
		R2	R3	R4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
9 体 育 ・ 保健体育 研 究 部	30,000 円	・郡市部長 研修会	・郡市部長 研修会 ・研究推進委員 研修会 ・実技研修会 (中央・県南) ・授業研究会 (県東) ・学校体育研究 協議会	・郡市部長 研修会		・郡市部長 研修会 ※各地区の 郡市部長 参加 5/29(金)									・年度末報告 ※事業報告, 次年度事業 計画について	

※実技研・授業研のローテーション 県北→中央→県南→県東→県西

令和2年度 茨城県教育研究会体育・保健体育研究部予算（案）

1 収入の部

項 目	予 算 額	付 記
補 助 事 業 費	3 0 , 0 0 0	県教育研究会
補助事業に要する経費以外の経費	0	
合 計	3 0 , 0 0 0	

2 支出の部

項 目		予 算 額	付 記		
補 助 事 業 に 要 す る 経 費	研究大会費		3 0 , 0 0 0		
	内 訳	謝 金	0		
		旅 費	0		
		借損料	0		
		資料費	5 , 0 0 0	研修会資料代等	
		通信費	1 0 , 0 0 0	切手代等	
		会議費	5 , 0 0 0	研修会会議代等	
		消耗品費	1 0 , 0 0 0	事務用品代等	
		研究調査費		0	
		図書購入費		0	
	研究成果刊行費		0		
	合 計		3 0 , 0 0 0		

令和2・3年度 茨城県教育研究会体育・保健体育研究部研究テーマについて (案)

1 研究主題

「できること、分かること、関わること」を実感し、活用できる体育学習

2 主題設定の理由

新学習指導要領が公示され、小学校では、令和2年度から実施を迎え、中学校では、令和3年度からの全面実施となる。新学習指導要領では、これまでの取組も重視しつつ、見方や考え方を働かせる学習過程を工夫し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進していくことが求められている。さらに、改訂の要点の一つとして、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱を確実に身に付けるための学習過程の工夫も求められている。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることもあり、「する、みる、支える、知る」といった運動やスポーツとの多様な関わり方と関連付けた指導の工夫や、性別や障害の有無等にかかわらず運動やスポーツの楽しみ方を共有するための指導の工夫なども併せて求められている。

本県の児童生徒の体力は、令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の結果から、小学5年生の男子が全国第5位、女子が第2位、中学2年生の男子が第1位、女子が第3位と、依然として全国的に高い水準を維持しているといえる。このことは、これまで継続して取り組んできた研究の成果の一つといえる。しかしながら、小学校男子のソフトボール投げの結果を見ると、多くの学年で昨年度の全国平均を下回っているなど、技能の定着は十分とはいえずこれまでの取組を見直し、改善する必要があることも考えられる。また、小学5年生の運動習慣の調査においても、「1週間の運動実施時間の平均」が男女共に全国平均を下回っているなど、課題も見られる。

これらを踏まえ、本研究部では、児童・生徒が「できること、分かること、関わること」を実感し、活用できる体育学習をテーマとして追究することが、体育・保健体育科の目標である「心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」ことにつながると考え、本研究主題を設定した。

3 研究の内容 (例)

- 指導内容の確実な定着を図るための弾力化をもたせた指導計画
- 児童生徒の発達段階や系統性を踏まえた学習指導
- 児童生徒の課題に応じた運動の場の工夫
- 適切なめあてのもとせ方と課題解決学習の方法
- 運動の学び方を重視した指導法 (Plan-Do-Check-Action)
- 個に応じた授業を進めるための学習活動 (個人カルテの活用等)
- 学習カード・学習資料の工夫と掲示・活用の仕方
- 運動の特性を踏まえた技能を定着させる教材づくり
- 基本的な動きを総合的に身に付ける「多様な動きをつくる運動 (遊び)」の教材づくり
- 体力の向上を重視した「体づくり運動」の授業
- 実生活への活用につなげるための学習展開を工夫した体育理論の授業
- 思考力・判断力・表現力を引き出す発問の工夫
- 地域や学校の実態に応じた学習指導
- 教育活動全体との関連を図った指導計画の作成
- 効果的・効率的な学習評価の在り方
- アクティブ・ラーニングを活用した授業づくり
- ICTを活用した授業づくり
- 身近な生活や個人生活における健康・安全に関する内容を重視した保健学習
- 実践に結びつく知識の習得とそれらを活用して考える場面を重視した保健学習
- 課題学習や実験・実習等を取り入れた体験的な保健学習

令和3年度 茨城県学校体育研究協議会について（案）

- 1 期 日 令和4年2月予定
 2 場 所 茨城県教育研修センター
 3 講 師 未定
 4 日程と内容

- (1) 受付 9:30 ～ 9:50
 (2) 全体会 10:00 ～ 10:20
 (3) 講演 10:30 ～ 12:00
 (4) 昼食 12:00 ～ 13:00
 (5) 分科会 13:10 ～ 15:20

- ① 4分科会・・・小学校低学年，小学校中学年，小学校高学年，中学校 各1分科会ずつ
 ② 発表者・・・各分科会2名，合計8名
 ③ 助言者・・・4名
 ④ 発表者ローテーション

ア．各地区のローテーション（名簿順）

	中央	県北・県東		県南	県西
①	水戸市	日立市	神栖市	土浦市	古河市
②	笠間市	常陸太田市	鹿嶋市	石岡市	結城市
③	ひたちなか市	高萩市	鉾田市	龍ヶ崎市	下妻市
④	常陸大宮市	北茨城市	潮来市	取手市	常総市
⑤	那珂市		行方市	牛久市	筑西市
⑥	小美玉市			つくば市	坂東市
⑦	東茨城郡			守谷市	桜川市
⑧	那珂郡			稲敷市	結城郡
⑨	久慈郡			かすみがうら市	猿島郡
⑩				つくばみらい市	
⑪				稲敷郡	
⑫				北相馬郡	

イ．発表区分

	小・低学年	小・中学年	小・高学年	中学校
元年度	県南（竜ヶ崎市） 県西（猿島郡）	県西（古河市） 中央（小美玉市）	中央（東茨城郡） 県北（高萩市）	県東（潮来市） 県南（取手市）
3年度	中央（那珂郡） 県東（行方市）	県北（北茨城市） 県南（牛久市）	県南（つくば市） 県西（結城市）	県西（下妻市） 中央（久慈郡）
5年度	県南（守谷市） 県西（常総市）	県西（筑西市） 中央（水戸市）	中央（笠間市） 県東（神栖市）	県北（日立市） 県南（稲敷市）
7年度	県西（坂東市） 中央（ひたちなか市）	中央（常陸大宮市） 県北（常陸太田市）	県東（鹿嶋市） 県南（かすみがうら市）	県南（つくばみらい市） 県西（桜川市）

※ 会場の収容人数の関係で，一般参加者を①「午前中のみ」と②「1日」の2つに分けます。

FAX 送信票

令和 2 年 月 日

送信先 FAX 0 2 9 - 2 6 9 - 2 1 5 9	水戸市立大場小学校 新 井 草 太 宛
送 信 者	

令和 2 年度 体育・保健体育研究部 研究推進委員報告書

郡 市 名	郡市番号	
推進委員氏名		
勤 務 先	〒 住所 学校名 T E L F A X	

各郡市の「令和元年度 研究推進委員名」を記入し、6 月 3 0 日(火)までに事務局に FAX
もしくは教育情報ネットワーク（※学校宛ではなく個人宛でお願いいたします。）で送って
くださるようお願いいたします。

※ 研究推進委員の選出にあたっては、できるだけ 2 年以上続けていただけるよう
お願いしております。